

畿央大学現代教育研究所主催

学びを結ぶ ワークショップⅢ



Kio University

2015 年
8 月 7 日 (金)

10 時～15 時 30 分

受付 9 時 30 分開始

畿央大学 P 棟 2 階入口にて

12 時 10 分より昼食交流会

参加無料

対象：教育関係者

定員：120 名
各ワークショップ 40 名
(先着順)

昨年 11 月、文部科学大臣から中央教育審議会に学習指導要領の改訂が諮問されました。そこには、学校教育は個々人の潜在的な力を最大限に引き出すことにより、一人一人が互いに認め合い、尊重し合いながら自己実現を図り、幸福な人生を送れるようにするとともに、より良い社会を築いていくことを目指す新たな未来への歩が示されています。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1353440.htm

畿央大学現代教育研究所は学校現場における教育力向上の一助となることをねらいにしてワークショップを実施しています。今年は教科等の内容に加えて発達障害のある子供への支援についての内容を設定し、学校教育の近い将来をより幅広く捉えようとしてしました。

テーマ「学びを結ぶ」は、子供の未来のために、私たち大学教員とご参加いただく現職の先生方がワークショップで育む学びで結ばれることを願って設定したものです。夏季休業中の研修として利用していただけるよう、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

ワークショップの内容

● **Workshop 1：社会科教育（小・中学校教諭・教員等対象）**
「子供が『なぜ？』を探究する社会科の授業づくり」

● **Workshop 2：養護実践（全校園養護教諭対象）**
「発達障害のある子供の身体性から支援のあり方を探る」

● **Workshop 3：特別支援教育（全校園教諭・教員等対象）**
「子供たちの多様性に応える『特別でない』支援教育について考える」

ワークショップの詳しい内容は、裏面をご覧ください。
お申し込みの際に参加ご希望のワークショップをお選び頂きます。

後 援
(申請中)

奈良県教育委員会、宇陀市教育委員会、香芝市教育委員会、奈良市教育委員会、大和高田市教育委員会、安堵町教育委員会、斑鳩町教育委員会、上牧町教育委員会、広陵町教育委員会、田原本町教育委員会

大阪府教育センター 平成 27 年度大阪府教職員自主研修支援事業 大学・専修学校等オープン講座

申し込み方法

裏面「申込票」に必要事項を明記の上 FAX するか、もしくはメールにて必要事項を送信して下さい。

【送信先】

畿央大学総務部 現代教育研究所ワークショップ係宛

FAX：0745-54-1600 E-mail：rime@kio.ac.jp

【お問い合わせ】 現代教育研究所（受付：総務部）

TEL:0745-54-1602

※なお、個人情報については、本ワークショップ以外には使用いたしません。



〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中 4-2-2

◆ ご来学の際には公共の交通機関をご利用下さい。◆

畿央大学現代教育研究所 主催 学びを結ぶワークショップⅢ

●ワークショップの内容

・ワークショップ1 「子供が『なぜ?』を探究する社会科の授業づくり」(小・中学校教諭対象)

担当：小谷恵津子（教育学部講師）

教科書に書かれている事柄を、知識として子供に伝達するだけになっている授業を変えたい、だけど一体どうしたらいいのだろう…。そんな先生方の悩みを解決し、子供たちが「自分が生きている社会って、どんなしくみで動いているの」ということを主体的に学んでいける社会科授業のあり方について、「なぜ?」を軸にした探究型の授業づくりの体験を通して一緒に考えましょう。

・ワークショップ2 「発達障害のある子供の身体性から支援のあり方を探る」(全校園養護教諭対象)

担当：岡本啓子（教育学部教授）古川恵美（教育学部准教授）

発達障害のある子供の身体の動きや感覚に問題をもつことは明らかになってきており、好ましく思えないという行動の中には、その子供の身体の動きや感覚に関わる内容や、社会的困難性につながると考えている内容が含まれていることが少なくありません。周囲はもちろん、本人も戸惑うことが多くみられます。今回は、それらを総称する「子供の身体性」を確かに捉えることができる養護教諭が、子供の身体をみることから支援につなげる示唆を探る場とします。

・ワークショップ3 「子供たちの多様性に応える『特別でない』支援教育について考える」(全校園教諭対象)

担当：大久保賢一（教育学部准教授）

特別支援教育について考えるとき、私たちは「障害のある子供／障害のない子供」という2種類の子供がいるような錯覚に陥りがちです。しかし、子供は全て十人十色であり、それぞれが内容や程度の違う「学び方」や「困り感」を持ちます。そのような多様な集団を包括する「特別でない」支援教育の基礎となる行動や学習の仕組み、あるいは教室で実行できる具体策について一緒に考えましょう。

プログラム

2015年8月7日（金） 会場：畿央大学

時 間	概要・場所		
9:30～9:50	受付（P棟2階）		
10:00～12:00	1 限 目		
	ワークショップ1 社会科教育 子供が「なぜ?」を探究する社会科の授業づくり P棟2階 P203 講義室	ワークショップ2 養護実践 発達障害のある子供の身体性から支援のあり方を探る P棟2階 P204 講義室	ワークショップ3 特別支援教育 子供たちの多様性に応える『特別でない』支援教育について考える P棟3階 P301 講義室
	昼食交流会（R棟1階食堂） 本学学生食堂にて、簡単な食事を準備させていただきます。 昼食をとりながら、日頃の教育に関する思いや悩み、希望などを話し合い、交流しましょう。		
12:10～13:20	2 限 目		
13:30～15:30	ワークショップ1 社会科教育 子供が「なぜ?」を探究する社会科の授業づくり P棟2階 P203 講義室	ワークショップ2 養護実践 発達障害のある子供の身体性から支援のあり方を探る P棟2階 P204 講義室	ワークショップ3 特別支援教育 子供たちの多様性に応える『特別でない』支援教育について考える P棟3階 P301 講義室

※1限目・2限目は同じ内容ですので、2つのワークショップをお申し込み頂くことができます。1限目または2限目のみのご参加も可能です。

※参加希望ワークショップを第1希望・第2希望としてお選び下さい。

※当日受付時にご参加頂くワークショップをお知らせいたします。

申 込 票

ふりがな			勤務先	
お名前				
ご連絡先	住所	〒		
	電話番号		メールアドレス	
参加時間	☐ 1・2限目両方 ☐ 1限目のみ ☐ 2限目のみ			
第1希望	☐ ワークショップ1 ☐ ワークショップ2 ☐ ワークショップ3			
第2希望	☐ ワークショップ1 ☐ ワークショップ2 ☐ ワークショップ3			
昼食交流会	☐ 参加する ☐ 参加しない			

申込票に必要事項を明記の上 FAX するか、もしくはメールにて必要事項を送信して下さい。

畿央大学総務部 現代教育研究所ワークショップ係宛

FAX：0745-54-1600 メール：rime@kio.ac.jp

※申込み多数の場合、ご希望いただいたワークショップにご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。

※なお、個人情報については、本ワークショップ以外には使用いたしません。